

# 北アルプス日本海広域観光連携会議 第3回広域観光連携専門委員会

平成29年10月24日  
糸魚川市役所202会議室

## 1 開会

## 2 報告

- (1) カーゴトラック&トレイン、サイクルトレインの実施状況について …資料No.1
- (2) 大糸線キハ52 限定ストラッププレゼントキャンペーンについて …資料No.2
- (3) 平成29年度訪日プロモーション地方連携事業について

## 3 審議事項

- (1) 平成30年度事業について …資料No.3
- (2) 平成30年度訪日プロモーション地方連携事業の申請について …資料No.4
- (3) 平成30年度予算について …資料No.5
- (4) その他

## 4 その他

## 5 閉会

## 第3回広域観光連携専門委員会 出席者名簿

区 分	団体名	所属	職名	氏名	出欠	備考
専門委員	上越市	産業観光部観光振興課	主事	丸田 歩	○	
	大町市	産業観光部観光課	観光係長	遠藤 俊治	○	
	白馬村	観光課	観光係長	長澤 肇		
	小谷村	観光振興課観光商工係	観光商工係長	中村 洋隆		
	朝日町	商工観光課	誘客プロモーション	山崎 渉	○	
	新潟県魚川地域振興局	企画振興部地域振興課	地域振興専門員	高橋 優		
	長野県北アルプス地域振興局	商工観光課	課長補佐	小林 敏	○	
	糸魚川市観光協会		事務局長	滝川 一夫	○	
			事務局員	後藤 陽子	○	
	上越観光コンベンション協会		営業係長	福島 大		
	大町市観光協会		専務理事	小松 令子	○	
	白馬村観光局		事務局長	福島 洋次郎		
			営業課	営業プロデューサー	伊達 仁彦	○
	白馬商工会		経営支援員	横川 敦	○	
	小谷村観光連盟		事務局長	菊原 昭一		
小谷村商工会		総務主幹	中村 豊			
朝日町観光協会		事務局長	平木 利明			
事務局	糸魚川市	産業部交流観光課	課長補佐	山本 喜八郎	○	
			主査	中村 真義	○	

■カーゴトラック&トレイン利用状況

資料 1

・利用実績(9月16日(土)~10月15日(日))

No.	利用日	利用団体	人数	利用方面	備考
1	9月23日	一般利用	8	糸魚川駅から	往復
	合計		8		

■サイクル・トレイン利用状況

・利用実績(6月1日(土)~10月9日(月))

No.	利用日	利用団体	人数	利用方面	備考
1	6月3日	白馬MTBクラブ	20	南小谷駅から	往復
2	6月4日	〃	20	糸魚川駅から	
3	6月14日	蕃薯Y車隊(台湾)	14	南小谷駅から	北アルモニターツアー(片道のみ)
4	6月24日	糸魚川グループ	32	糸魚川駅から	往復
5	〃	白馬グループ	22	南小谷駅から	〃
6	7月9日	魚津りんりん館サイクリングチーム	30	糸魚川駅から	〃
7	9月16日	一般利用	16	糸魚川駅から	〃
8	9月17日	オレガノカフェ	14	糸魚川駅から	片道
9	10月8日	魚津りんりん館サイクリングチーム	30	糸魚川駅から	往復
10	10月8日	日本ボーイスカウト	20	糸魚川駅から	片道
11	10月9日	小谷村ガイドサイクリングツアー	6	南小谷駅から	往復
12	10月9日	日本ボーイスカウト	20	南小谷駅から	〃
	合計		244		

※7月14日~8月27日までは、夏期繁忙期のため、実施しない。

■ 鉄道魅力発信事業(8月16日～11月30日)

資料2

・キハ52ストラップ配布状況(10月15日現在)

No.	配布箇所	各駅個数	各駅配布数	各駅残数
1	糸魚川駅	648	348	300
2	白馬駅	667	272	395
3	信濃大町駅	667	340	327
	計	1,982	960	1,022

## 平成 30 年度 事業計画 (案)

平成 30 年 4 月～31 年 3 月

平成 30 年度事業

**(1) 広域旅行商品の販売促進** 600,000 円

- ・ 広域旅行商品の造成及び販売を通じて当エリアへの誘客拡大並びに認知度向上を図る。

## ■事業計画

- ・ 北陸新幹線系魚川駅を利用した広域旅行商品の企画造成、または販売に係る費用を負担する。連携会議構成団体が自ら企画するツアー商品のほか、旅行会社が送客を促すための支援としても利用可。

例：広告協賛金、ツアー代金への充当、バス代補助等

- ・ 2 市町村以上を跨るコース設定を条件に広域エリアでの周遊を図る。

**(2) 訪日プロモーション地方連携事業** 3,700,000 円

- ・ 外国人旅行者の訪日促進を図る観光庁による戦略的プロモーション事業。地域の提案を国が採択し、国と地域で連携して実施するものであり、サイクルをテーマとした台湾からの誘客を図ることを目的に実施。

## ■事業計画 (案)

- (1) 旅行会社招請 平成 30 年 6 月 7 日～11 日開催予定
- (2) セールスコール 平成 30 年 5 月 4 日～7 日開催予定
- (3) サイクルイベント招請…台湾国内サイクリストのパワーブロガーを招請
  - ・ 北アルプス山麓グランフォンド 7 月 23 日開催予定
  - ・ グランフォンド系魚川 10 月 7 日開催予定
- (4) 印刷物・映像製作
  - ※ 詳細は、別紙事業提案書のとおり

**(3) 冬季シャトルバス運行事業** 300,000 円

- ・ 冬季、白馬バレーに滞在する外国人観光客の移動の足として、白馬ー糸魚川間をシャトルバスで繋ぎ、エリア内の観光流動の創出を図る。

## 【事業概要】

- 運行スケジュール (期間中の毎週水～金曜日 全 12 回運行)

平成 31 年 1 月 9 日 (水) ～2 月 7 日 (木)

- 運行時間

白馬東急ホテル(17:00) == 八方インフォメーションセンター(17:10) == 白馬山麓ツ

アーズ(17:15) == 南小谷駅(17:35) == 糸魚川駅(18:30~21:30) == 南小谷駅  
(22:25) == 白馬山麓ツアーズ(22:35) == 八方インフォメーションセンター(22:40)  
== 白馬東急ホテル(22:50) ※マイクロバス 27 人乗り(基本)

■利用料金

片道 500 円 (往復 1,000 円)

■広報宣伝

チラシの作成・配布、ホームページ掲載、「エッセンシャルガイド」掲出

(4) 鉄道魅力発信事業

800,000 円

- ・ 在来線の魅力をアピールすることで来訪意欲を創出する。乗車を促すオリジナルグッズを制作、配布することで利用促進と交流人口の拡大を図る。

「トキメキ鉄道・あいの風ストラッププレゼントキャンペーン」

(直江津駅～糸魚川駅～泊駅間) に乗車し、指定のスタンプを集めた方を対象にリゾート列車雪月花ストラップをプレゼント。

■期間 8月16日(土)～11月25日(日)

■要件 専用スタンプが押された台紙と糸魚川駅～泊駅、糸魚川～直江津駅間の効な乗車券の提示でストラップと交換。

■数量 1,000 個 (先着順)

■スタンプ設置場所 糸魚川駅ときめき鉄道改札口・泊駅改札口・直江津駅



(5) カーゴトラック&トレイン

500,000 円

- ・ 自転車での移動に危険が伴う糸魚川～小谷間、青海～市振間を、トラック便を利用し移動させることでサイクリストが周遊できる環境整備を図り、日本海エリア・北アルプスエリアの相互移動及び在来線の利用促進を図る。

■実施時期

・ 糸魚川～小谷間、

平成 30 年 6 月 2 日 (土) ～10 月 8 日 (月・祝日) のうち 5 回程度

利用料金 おとな片道 1 名 500 円 (別途糸魚川～南小谷乗車券 670 円)

・ 青海～市振間

平成 30 年 6 月 2 日 (土) ～10 月 8 日 (月・祝日) のうち 5 回程度

利用料金 おとな片道 1 名 500 円 (別途青海～市振間乗車券 240 円)

※両区間とも、最少催行人数は 10 人以上

## 平成30年度 北陸信越運輸局 訪日プロモーションにおける地方連携事業 事業提案書

事業名	北アルプス日本海広域誘客促進事業													
事業主体(連携先等)	北アルプス日本海広域観光連携会議													
国内対象地域	富山県(朝日町)、新潟県(糸魚川市・上越市)、長野県(小谷村・白馬村・大町市)													
事業概要	1 対象市場	台湾												
	2 誘客対象(客層等)	自転車関連のアウトドアスポーツ愛好者層(20代～30代の若者層)	選定理由	6市町村の観光誘致施策の共有化が図られること										
	3 背景・目的・訴求テーマ・コンテンツ等	<p>■提案の背景・目的及び継続理由</p> <p>平成28年度より訪日プロモーション地方連携事業(VJ地方連携事業)に取り組んで参りました。その間、受入環境整備としてJR西日本による大糸線「サイクルトレイン」や「カーゴ&amp;トレイン」の実証実験の提案や各エリアのサイクル事業の取り組みなど着実に環境整備が進んでいます。地方創生の一助としての観光地経営を進める上で手応えのあるサイクル事業によるインバウンド誘客を今年度も取り組んでゆきます。特に地方ならではの「文化や歴史」、「郷土食」のPRIによる農業者との協働、「観光コンテンツ」の更なるブラッシュアップなど、「風光明媚な田舎」をキーワードにプロモーション活動に繋げてゆきたいと考えます。平成28年度事業で制作したプロモーション用パンフレットの増刷や平成29年度事業で制作した動画をプロモーション販促の柱として誘客事業に活用、博覧会出展による周知とお客様アンケートによるマーケット調査を活かした誘客プランの造成、サイクルイベントへのメディア招請</p>												
	4 実施事業	<input checked="" type="checkbox"/> ①旅行会社招請 <input type="checkbox"/> ②海外現地商談会 <input checked="" type="checkbox"/> ③旅行会社等セールスコール <input type="checkbox"/> ④セミナー <input type="checkbox"/> ⑤共同広告 <input type="checkbox"/> ⑥純広告 <input checked="" type="checkbox"/> ⑦メディア招請 <input type="checkbox"/> ⑧海外現地メディア説明会 <input type="checkbox"/> ⑨インターネット広告(web) <input type="checkbox"/> ⑩インターネット広告(SNS) <input checked="" type="checkbox"/> ⑪印刷物・映像等 <input checked="" type="checkbox"/> ⑫旅行博出展												
	5 事業計画	<p>■旅行会社招請 6月 日本海北アルプスエリア及び白馬サイクルフェスタ参加4泊5日 4社4名(企画募集ツアー造成会社)</p> <p>■旅行会社等セールスコール 5月 旅行会社及びサイクルショップ(旅行博参加時に実施)</p> <p>■メディア招請 7月・10月 サイクリングイベント招請(7月北アルプス山麓グランフوند、10月糸魚川グランフوند)各5名</p> <p>■印刷物 プロモーション用パンフ・ポスター制作(平成28年度制作分の増刷)セールスコール、旅行博使用分5,000部 ポスター 100枚</p> <p>■旅行博出展 5月台北国際旅行博(TTE)出展 北アルプス日本海観光連携会議担当者6地域6名</p>												
	6 招請事業の視察行程	<p>【旅行会社招請事業】6/7富山空港～朝日町(タラ汁昼食)～ひすい海岸(ひすい探し)～バタバタ茶体験～小川温泉泊 6/8小川温泉～高田公園～雁木通り～上越市春日山城～久比岐自転車道～能生マリンドリーム(カニ屋横丁昼食)～弁天島・白山神社～糸魚川温泉國富アネックス泊 6/9國富アネックス～JR大糸線サイクルトレイン～南小谷～千国の庄資料館～牛方の宿～白馬岩岳MTBパーク(マウンテンバイク体験)～白馬サイクルフェスタ前夜祭参加～白馬サンパレーホテル泊 6/10白馬サンパレーホテル～白馬サイクルフェスタ参加～白馬流星花園泊 6/11白馬～富山空港 6月7日～11日4泊5日。</p> <p>【メディア招請事業】北アルプス山麓グランフوند招請(7月) 富山空港～朝日町タラ汁昼食～ひすい海岸(ひすい探し)～靈松寺～大町温泉郷立山プリンス泊 立山プリンス～扇沢～黒部ダム～大町山岳博物館～ウエルカムイベント・受付～白馬流星花園泊 白馬流星花園～北アルプスグランフوند参加～白馬流星花園泊 白馬流星花園～糸魚川ジオパル見学～富山空港 3泊4日</p> <p>糸魚川グランフوند招請(10月) 富山空港～柿崎～浄善寺～岩の原ぶどう園～天ぶら若杉屋食(する天)～高田公園～雁木通り～上越泊 上越宿～久比岐自転車道～うみてらす名立～マリンドリーム能生(蟹や横丁昼食)・受付～弁天岩～白山神社～焼山温泉清風館泊 焼山温泉清風館～糸魚川グランフوند参加～千国の庄～白馬ジャンプ台～白馬流星花園泊 流星花園～富山空港</p>												
	7 スケジュール	事業番号	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		①			○									
	③⑫		○											
	⑦				○			○						
	⑪	○												
8 継続理由	<p>○新規                      ●継続 (過去の事業名: 北アルプス日本海広域誘客促進事業)</p> <p>この事業を通じて、地方への訪日外国人誘客に向けた環境整備が官民一体となって動き出しました。特に連携事業において理念の共有化が深まったことや「サイクルツーリズム」の必要性と効果について意識が高まったことは大変有意義であったと考えます。また、事業そのものは「サイクルツーリズムの推進」ではありますが、そこから波及した一般訪日観光客の地域に対する関心の高まりと同時に訪問されるお客様が着実に増えている。この流れを止めることなく継続してゆくことが重要との認識です。</p>													
想定する広域ルート	<p>旅行会社招請: 富山きとときと空港～富山朝日町～上越市～糸魚川市～小谷村～白馬村～大町市～富山きとときと空港4泊5日</p> <p>メディア招請: 7月富山きとときと空港～富山朝日町～大町市～白馬村～糸魚川市～富山きとときと空港</p> <p>10月富山きとときと空港～上越市～糸魚川市～小谷村～白馬村～富山きとときと空港</p>													
実施事業の費用	個別事業名	事業費合計			国負担額			連携先負担額						
	旅行会社招請				航空券代	320	千円	宿泊・食事代	270	千円				
					通訳費	250	千円	国内移動費	250	千円				
		合計	1,090	千円	小計	570	千円	小計	520	千円				
	セールスコール				通訳代	200	千円	航空券代	480	千円				
								宿泊代	600	千円				
		合計	1,580	千円	小計	200	千円	小計	1,380	千円				
メディア招請				現地移動費	400	千円	航空券代	800	千円					
				通訳ガイド費	400	千円	宿泊費	612	千円					
	合計	2,277	千円	小計	800	千円	小計	1,477	千円					
印刷物														
				ポスター印刷	30	千円								
	合計	180	千円	小計	180	千円	小計	0	千円					
旅行博出展							出展料	800	千円					
	合計	800	千円	小計	800	千円	小計	0	千円					
総合計		5,747	千円		2,370	千円		3,377	千円					

定量成果目標	旅行会社招請	造成ツアー本数	10	送客数	300						
	セールスコール	訪問件数	10	商談件数	10	造成ツアー本数	5	送客数	150(人)	日本側参加人数	6
	メディア招請	掲載本数	10(人)	媒体接触者数	30000	メディア費用換算(円)	300万				
	旅行博出展	来場者数(業者プレス)	4千人	一般来場者数(全体)	28万人	業者、プレス来場者数(ブース)	500人	一般来場者数(ブース)	5,000人		
	印刷物・映像等	作成部数/放映時間	ポスター100枚	パンフレット5,000部							
期待される効果(定性目標)	北アルプス日本海広域観光ルート及びエリアの観光コンテンツの掘り起こしと情報発信を行なうとともに、連携会議の隣接する他の地域との情報交換や観光連携の協働施策などを模索し、エリアブランドの更なる構築とアジア圏(特に台湾)客の誘客促進を図る。										

提案者

所属	新潟県糸魚川市産業部交流観光課	担当者名	山本 喜八郎
電話	025-552-1511	E-mail	kihachiro.yamamoto@city.itoigawa.lg.jp



### 1. 旅行会社招請事業

◇サイクルツアー商品造成 4 社 (4 名)

◇北アルプス日本海広域観光連携会議モニターツアーを同時開催

\*サイクルショップ店長クラス及びそのクラブ会員

◇期間 2018.6.7~6.11 4 泊 5 日

◇実施内容 連携エリアを視察及び白馬サイクルフェスタ招請 (6/10 開催)

\*企画募集ツアーとして 20 名定員

◇予算規模 1,090 千円

航空券代 合計 320,000 円 4 名×往復 80,000 円

宿泊費・食事 合計 270,000 円 4 名×4 泊×15,000 円+4 名×昼食 5 回×1,500 円

国内移動費 合計 250,000 円 1 日 50,000 円×5 日間

通訳費 合計 250,000 円 1 日 50,000 円×5 日間

◆北ア負担 (モニターツアー) 326,000 円

自転車移動費 (貨物車レンタカー) 100,000 円/5 日

昼食補助 50,000 円 @500 円×20 名×4 回

宿泊補助 240,000 円 @3,000 円×20 名×4 泊

サイクルフェスタ負担金 36,000 円 @1,500 円×24 名

### 2. セールスコール (ショップ販促含む) 事業 旅行博出展事業

\*旅行博に合わせて実施。旅行社・サイクルショップ及びサイクルイベント参加

【TTE 台北国際旅行博】

\*エンドユーザーへのダイレクトプロモーション

◇台北国際観光博覧会 2018 年 5 月 4 日~7 日開催予定

◇予算規模 (旅行博) 1,000 千円 出展費 800,000 円 (装飾・レンタル備品含む)

通訳スタッフ費 50,000 円×4 日

【セールスコール】

◇台湾主要旅行会社 台北 10 社

◇サイクルショップ 台北 10 店

◇予算規模 1,580 千円

航空券代 合計 480,000 円 6 市町村 (6 名) ×往復 80,000 円

現地移動費 合計 300,000 円 50,000 円×6 日間

通訳費 合計 200,000 円 セールスコール担当 50,000 円×4 日間

宿泊費 合計 600,000 円 20,000 円×6 名×5 泊 (5/3~5/8 滞在)

### 3. サイクルイベント招請

\*台湾国内サイクリストのパワーブロガーを招聘し、大会参加ブログを発信してもらう

◇パワーブロガー 各大会 5 名

◇サイクルイベントは以下のお通り

\*北アルプス山麓グランフオンド 7 月 22 日開催予定

\*グランフオンド糸魚川 10 月 7 日開催予定

◇予算規模（サイクルイベント）2,277千円 \*実施日未定 3泊4日

航空券代	合計 800,000 円	80,000 円×5名×2会場
国内移動費	合計 400,000 円	50,000 円×4日×2会場（自転車運搬も兼ねる）
通訳ガイド費	合計 400,000 円	50,000 円×4日間×2会場
宿泊費（昼食含）	合計 612,000 円	15,000 円×6名×3泊×2会場+1500 円×4回×6名×2会場
イベント参加代	合計 65,000 円	北アルプスグランフوند 5,000 円×5名 糸魚川グランフوند 8,000 円×5名

\*ガイド宿泊及び食事を追加

### 3. 印刷物・映像制作 180,000 円

◇サイクルショップ及び旅行会社店舗内掲示用ポスター制作 100 枚

◇予算規模 30,000 円 @300 円×100 枚 A1 サイズ カラー印刷（台湾にて制作）

◇旅行博配布用及びセールスコール用パンフ印刷 5000 部

◇予算規模 150,000 円 @30 円×5,000 部 A4 サイズ クロス 8 頁折

## 【収入の部】

(単位：円)

科 目	H30予算額	H29予算額	比較増減	説 明
	6,289,000	6,289,000	0	
1. 負担金	4,000,000	4,000,000	0	糸魚川市
	630,000	630,000	0	上越市
	890,000	890,000	0	大町市
	275,000	275,000	0	白馬村
	94,000	94,000	0	小谷村
	400,000	400,000	0	朝日町
2. 特別負担金	0	0	0	新潟県
3. 補助金	0	0	0	
4. 雑収入	201,000	150,676	50,324	総会交流会費、預金利息
5. 繰越金	1,000,000	1,919,324	-919,324	前年度繰越金(見込)
計	7,490,000	8,359,000	-869,000	

## 【支出の部】

科 目	H30予算額	H29予算額	比較増減	説 明
1. 事業費	6,101,000	7,475,000	-1,374,000	
広告宣伝	1,000	1,000	0	広域マップ増刷
広域旅行商品の販売促進	600,000	900,000	-300,000	100千円×6団体
訪日プロモーション地方連携事業	3,700,000	3,700,000	0	旅行社招請、セールスコール、旅行博出展等
関西AGTモニターツアー	0	0	0	
観光キャンペーン	0	0	0	
冬季シャトルバス運行事業	300,000	400,000	-100,000	シーフードシャトルバス
鉄道魅力発信事業	800,000	974,000	-174,000	雪月花ストラップ
サイクルトレイン、カーゴトラック&トレイン	500,000	800,000	-300,000	J R西大糸線提案事業
スノーリゾートシャトルバス	0	500,000	-500,000	糸魚川ー北アルプス連絡バス
ホームページ運営管理	200,000	200,000	0	ホームページ管理
2. 連携会議運営費	415,000	415,000	0	
会議費	200,000	200,000	0	総会、交流会等
事務委託費	200,000	200,000	0	糸魚川市観光協会委託
事務通信費	15,000	15,000	0	消耗品、事務通信費等
3. 予備費	74,000	469,000	-395,000	
予備費	74,000	469,000	-395,000	
計	6,590,000	8,359,000	-1,769,000	

事業計画、執行状況等に応じて、科目間の流用を行えるものとする。